
過去壱 全ての始まりの書 罪 そして代償 一度壊れた心

yatennyue

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

過去壱 全ての始まりの書 罪 そして代償 一度壊れた心

【ZINEコード】

Z0436Z

【作者名】

yatenyu

【あらすじ】

中世風の国、アルゲネスト。医術と鍊金術は発達したそこは、今でも廃止された身分制度は深く根づき、男尊女卑の傾向が強い。公的には、十数年前に廃止されたが、王族、貴族（伯爵・公爵・侯爵・男爵等を中心とする）は威張り権威を張り続けている。そんな世にうんざりした5人の少年少女がいた。

?

目立つことのない小さな世界があった。

その世界は一つの大陸でのみ構成され、そこは一つの国により統治されていた。

その国の名はアルドネスト。

この世界では医術と鍊金術が発達し、またようやく女性の地位が向上されたが、男尊女卑の風潮が根強く残ったところだった。

医師にも鍊金術師にも位があった。

医師は上から最高医術師、高位医術師、中位医術師、下位医術師に分けられ、

最高は国の紋章獅子が描かれた特製の白衣と朱いブローチが、

高位には緑、中位は黄、下位には普通の許可書だけが渡され

これがこの国での医師証明書だ。

同様に鍊金術師の位は、一番上に十一蓬華ジュニボウカと呼ばれ、それぞれが花名を國から授かつた十二人が

そして下に一葉フタバ、早苗サナエ、初薔ツボミというかんじであり

区別するため十一蓬華は国の紋章がついた金時計と花名に合わせた色の五芒星^{ペンタグラム}と花がついた手甲と同色の石のついたペンダントを

二葉は、金時計と同じデザインの銀時計を、早苗からは証明書のみこれらが、国から授けられる。

軍治国家なら軍人になる義務を負うかもしれないが、この国は法治國家なので関係ない。

勿論少し鍊成するくらいなら国家資格を持たない人もいる。（後もぐりとか）

そんな国の首都・サマリアに彼女達はいた。

現在非常に感染力が強く、致死率が高い伝染病が辺境から迫っていた。

人の小さな子を抱えた女性が倒れ込んだ。

「だ大丈夫？」

話し掛けたのは赤茶色の髪とピンクがかつたオレンジ色の瞳の17歳に見える少女

「…………」の首都に

貧富関係なく、診てくれる最高医術師がいると聞いて東部のカトレ

アから…

早く連れていかないと息子が…」

そう言つ彼女の腕にはまだ小さな赤子が抱かれていた。

「わかった」

そう言い自分の肩を貸し、とある少し町外れへといぐ。そして入つたのは周りに比べ綺麗にされた建物。

中へと入ると沢山の患者さんが。

怪我を治されている人、まだの人、安静にしている人。

「お帰り、サリア」

こう声をかけたのは

茶色の髪に少女と同色のピンクがかつたオレンジ色の瞳の同年齢に見える少女。

田鼻立ちは”サリア”つ呼ばれた少女に良く似ていて、長い髪を上でまとめている

「ただいまキーリ。患者よ。

かなり一刻を争うわ。場所を空けて」

といいながら、

長い髪を上で束ね、白い帽子を被る。

そしてキーリから受け取るのは白衣。

胸のポケットには国の紋章が丁寧に織り込められ、そこに無造作に留めてあるのは、朱いブローチ。

それは両手の指の数よりも少ない最高医術師の証。

サリアと呼ばれた少女の名は正確にはサリア・アリテレスといい、弱冠14歳にして最高医術師の資格を取った天才で現在18歳。そして最高医術師の例に洩れず、貴族階級出身なのだが、平民や流民、はたまた奴隸と言われる階級のものでさえ分け隔てなく接し、救う。

大陸でも

”天衣無縫の優しき医術師”として名高いのだが、まだ女性の地位確立の途中の今、それが女性でしかも少女だということは広く知られていない。だから

「あなたが…最高医術師様ですか？」
女性が言う。

まだまだ治療を受けていないような体格のよい男が言う。

「そんな彼民の女の子供なんて後にしろよ！」

「貴方はまだまだ大丈夫です。

応急処置も的確にキーリがしてるようですし。」

澄ましたように答える。

「てめえいい加減にしろよそんな子供どつでもいいじゃねえかっ！－
それより李民の俺の方が優先順位は上だつ」

「」

それは被民と言ひ身分階級より上に位置するもの。

この身分は服装によつて判断ができる、くすんだ茶色や柿色の服はその者達だけだ。

最近それは国により廃止されたばかりで、まだ根強い差別や身分制度が残つている。

その言葉に冷たい静かな怒りを宿す瞳を男に向け、言ひ。

「身分なんてどつでもいいのです。命に上つはありません。」

「」

男の腕が振り上げられた。皆がか弱い少女が男により吹つ飛ばされると思つた

しかし、少女が殴られる音はせず、

その手を受け止めていたのはキーリと呼ばれた少女だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0436z/>

過去壱 全ての始まりの書 罪 そして代償 一度壊れた心

2011年12月1日20時07分発行